

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	石川県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	いしかわの文化遺産を活かした地域活性化プロジェクト	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>石川県には加賀百万石の歴史に育まれた質の高い伝統文化の集積がある。これは、他県に比べて群を抜くものであり、石川県の個性ともいえるものである。この先人から受け継いだ伝統文化などの文化遺産を活かし、石川の個性ある文化にさらなる磨きをかけ、地域の魅力を高めることにより、北陸新幹線金沢開業後の本県の観光振興・地域活性化を図る。</p> <p>具体的には、「石川県長期構想」（平成8年策定、平成19年改定、平成28年改定）に基づき、「個性と魅力あふれる文化と学術の地域づくり」を重点戦略とする「個性と魅力にあふれる文化の創造と発展」への取り組みや「いしかわ文化振興条例」（平成27年制定）をよりどころとする本県の文化振興施策の実施のため、次の事業を実施する。（「石川県長期構想」と「いしかわ文化振興条例」は下記URLに掲載）</p> <p>①能楽他流派競演（平成29年度～平成33年度） ②観能の夕べ（〃〃） ③能楽体験・鑑賞会（〃〃） ④茶屋文化体験（〃〃） ⑤石川県ヘリテージマネージャー育成事業（平成27年度～平成31年度）</p> <p>石川県長期構想 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/160331.html いしかわ文化振興条例 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/muse/jourei/bunkashinko_jourei.html</p>			
6 実施体制			
<p>石川県が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会文化財課：文化財の取扱等に関する指導・調整等 ・県民文化スポーツ部文化振興課：伝統文化事業等に関する指導・調整等 <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわの伝統文化活性化実行委員会（委員長：清水 克弥） 構成団体 石川県、（一社）石川県建築士会 <p>※平成29年度までは、いしかわの伝統文化活性化実行委員会及び石川県ヘリテージマネージャー育成事業実行委員会（事務局：（一社）石川建築士会）においてそれぞれ事業を実施していたが、平成30年度からは、実施主体をいしかわの伝統文化活性化実行委員会に一本化する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額：104,621 千円	平成31年度要望額：18,675 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	

9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）

1. 想定される効果

- (1) 伝統文化の継承及び体験事業による裾野の拡大
- (2) 県民の伝統文化継承に対する啓蒙
- (3) 文化遺産の担い手の人数、団体数の維持、増加
- (4) 県内外からの観光客の増加
- (5) 地域の歴史文化遺産の発掘、保全（ヘリテージマネージャー育成事業）

2. 効果の測定方法等

①～④の事業

- (1) 各事業の参加者数の集計
- (2) 各事業の参加者、団体への事業内容に関するアンケートの実施
 - ・参加者の年齢層、居住地、当該文化遺産への親密度（過去の鑑賞回数）など全体の性質の把握
 - ・参加者の事業に対する評価（満足、不満足等）や個別の意見の把握

目標：各事業で実施したアンケート結果において、事業に対する満足度の高い（満足、また参加したい、と回答した）人の割合80%以上。

・能楽他流派競演においては来場者数が300人以上（会場となる石川県立能楽堂：定員400人の内75%以上）、観能の夕べ、能楽体験・鑑賞会の能楽公演については、1公演あたりの平均来場者数が240人以上（会場となる石川県立能楽堂：定員400人のうち60%）。

・能楽体験会の体験については参加者数が募集定員の60%以上。

- (3) 文化遺産の担い手の人数、団体数の把握

・加賀宝生の継保存とその普及振興を目的とする、能楽師で構成された団体である公益社団法人金沢能楽会の会員数と、金沢市内の三茶屋街にいる金沢芸妓の人数の推移を把握する。

⑦の事業

- ・ヘリテージマネージャー育成事業

本講習会を実施することにより、ヘリテージマネージャー講習修了者が、地域の歴史文化遺産を広く発掘し、保全していく活動に関わることができる。

具体的には、登録有形文化財候補の発掘や調査等の作業、地域の文化財というべき歴史的建造物の分布調査・詳細調査、歴史的建造物を活用したまちづくり参画などが挙げられる。

歴史的建造物の保全はもとより、伝統技術の継承、伝統技術を尊重した安全対策の実施が期待される。また、地域住民にその地域資源である歴史的建造物の価値を知ってもらい、利活用を図りながら地域活動が展開されることで地域の新たな魅力の創出が期待される。

これらにより石川県内の文化財保護と活用が大きく進展し、地域の活性化に寄与できると考えられる。

また、大規模災害が発生した場合、被災した歴史的建造物の実態調査や診断、修復等に県内のヘリテージマネージャー講習修了者があたることにより、緊急時の歴史的建造物の保護にも大きな役割を果たすことが出来る。

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

未定

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課	県民文化スポーツ部文化振興課、教育委員会事務局文化財課
-----------------	-----------------------------

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	兼六園周辺文化施設の年間入場者数			関連事業:	①、②、③、④、⑤	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 752,541 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 790,168 人					
設定根拠 1 :	平成28年度の兼六園周辺文化施設の年間入場者数の約5%増を目指す。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
831,540 人	942,779 人					
210%	506%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	石川県の文化団体数			関連事業:		
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 46 団体 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 46 団体					
設定根拠 2 :	会員数の減少、会員の高齢化等から活動を休止・減少させる団体があることを踏まえ、現状維持を設定。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
47 団体	48 団体					
100%	100%					
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	石川県内のヘリテージマネージャー活動者数			関連事業:	⑦	
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 54 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 90 人					
設定根拠 3 :	ヘリテージマネージャー講習修了者による活動者数を増加させるため設定。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
54 人	51 人					
0%	-8%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	能楽他流派競演	実施団体：	いしかわの伝統文化活性化実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>目的：日頃、宝生流以外の能楽に触れることの少ない県民に、同じ舞台で他の流派の公演をご覧いただき、能楽への一層の興味を持ってもらうことにより、能楽の振興を図るとともに、本県が誇る伝統文化を全国に発信する。</p> <p>内容：本県で盛んな宝生流に加えてもう一つ別の流派の公演を同じ舞台上演。</p>					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	能楽公演の満足度 (アンケート)					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 96 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 96 %以上					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
%	%	%	%	%	%	
事業②：	観能のタベ	実施団体：	いしかわの伝統文化活性化実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>目的：夏季及び冬季機関に集中して定期的な能楽公演を上演し、鑑賞する機会を設けることにより、能楽愛好者の増加と能楽師の技術向上の契機とし、本県の文化振興を図るとともに、本県が誇る伝統文化を全国に発信する。</p> <p>内容：一般公演 解説、狂言、能 特別公演 解説、狂言、能 (宝生流宗家からの出演)、仕舞</p>					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	県外の方の割合 (アンケート)					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 15 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 24 %以上					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
%	%	%	%	%	%	

事業③：	能楽体験・鑑賞会	実施団体：	いしかわの伝統文化活性化実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>目的：県民や観光客が気軽に能楽を体験するとともに、はじめての方にも分かりやすい解説付きの能楽鑑賞会を開催することにより、多くの方々に能楽に触れ、楽しんでいただける機会を提供し、能楽文化の継承、発展を図る。</p> <p>内容：①能・狂言・囃子等を能舞台にて体験するワークショップの開催 ②能楽師による当日の演目の解説 ③能楽公演の鑑賞</p>					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	能楽公演・体験の満足度（アンケート）					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 97 % ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 97 %以上					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	平成 36 年度	
%	%	%	%	%	%	
事業④：	茶屋文化体験	実施団体：	いしかわの伝統文化活性化実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>目的：県民や観光客が普段なじみのない茶屋文化を体験し、藩政期より継承されている金沢芸妓の芸に触れることで、伝統芸能に対する関心を高め、全国に発信するとともに、芸の発表の場を創出することにより、芸妓の技能向上の契機とする。また、上記公演に併せ、日頃、金沢芸妓が公演に使用する、石川県立音楽堂の邦楽ホールの本格的舞台機構を案内するバックステージツアーを開催し、来場者に本県の伝統芸能の層の厚さや質の高さを実感していただく。</p> <p>内容：芸妓による踊りや三味線、太鼓の披露及び太鼓等の体験 金沢三茶屋街（ひがし、にし、主計町）各10回（計30回）実施 上記公演のうち月1回（計6回）は、県立音楽堂邦楽ホールバックステージツアーを併催（迫りや廻り舞台、花道などの体験）</p>					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	金沢芸妓の人数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 44 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 55 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
46 人	46 人	人	人	人	人	
18%	18%					

事業⑤：	石川県ヘリテージマネージャー育成事業	実施団体：	いしかわの伝統文化活性化実行委員会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度			
事業概要：	ヘリテージマネージャー育成のためスキルアップ講座を実施し、ヘリテージマネージャーの更なる実践的、実務的な活動のためのレベルアップを目指す。また、これまでの演習等で発見した「私が見つけた文化財」等による物件の調査内容を深めたものをまとめた「身近な歴史的建造物（仮）」のブックレットを発刊、情報発信し、普及と啓発を目指す。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	地域の歴史的建造物の調査記録活動において、調査対象建物数を増やし、実践的調査記録作成についてヘリテージマネージャーとしての資質を高める。					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 1 軒 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 2 軒					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 31 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
軒	軒	軒	軒	軒	軒	